

令和2年度事業報告書概要（東京港野鳥公園）

指定管理者：東京港野鳥公園グループ

1 管理状況

○ 適切な管理の履行

・ 便所清掃

お客様から料金をいただく有料施設として、公園に滞在する時間をより快適に過ごしていただくため、トイレの重点清掃を大幅に増加して実施しました。特にお客様が多く来園していた時期は、実施頻度を増やすなど、利用状況を鑑みた衛生管理を行いました。

・ 園地清掃

来園者の利用頻度や植物の育成状況に応じて、年間計画より実施を増やして維持管理をすることで、来園者にいつでも快適に過ごせる場を提供いたしました。

・ 樹木剪定

園路の通行上支障があるもの、倒木の危険性のあるもの等、利用者の安全確保や樹木の育成上必要な観点である照度改善のため、剪定等樹木管理を増やして実施しました。また、周辺道路へ倒木の危険性がある高木の伐採を速やかに実施しました。

・ 自由意見に対する取り組み

アンケート調査の「潮入りの池園路沿いに野鳥観察スポットをつくってほしい」とのご要望に対して、スタッフが直営で樹木や草刈りを実施し、野鳥観察スポットを作成しました。

・ サービス充実への取り組み

窓口においては、最新のお知らせ・当日の行事情報・昨日見られた鳥情報・その他自然情報・マップ等を、デジタルサイネージや掲示等で情報提供するとともに、気持ちよくお過ごしいただけるように常にお客様の視点に立った親切でわかりやすい対応を行いました。

○ 安全性の確保

・ 防災訓練の実施

当社の「大規模地震発生時初動対応マニュアル」を活用し、社員及びボランティア団体一丸となって、社員・お客様等の安否確認・情報伝達訓練・公園施設の状況確認・一時避難場所への誘導・仮設トイレの設置・毛布や飲料水等の備蓄品の確認を実施し、緊急時の対応能力の向上を図りました。

・ 安全管理の徹底

子供の転落事故があったため子供の目線で園内全てを再点検し、社内全施設の一斉点検も実施しました。

2 事業効果

○ 事業の取組

・コロナ対策を工夫して実施した事業

イベント実施にあたり東京都の方針に基づく指定管理者としてのガイドラインを作成しました。これに基づき、確認書を参加者からいただいた上で、「潮入りぐるっと観察会」を人数制限及びコース・時間を短縮して実施しました。

また、田んぼクラブは開催できませんでしたが、スタッフとボランティア協働で田おこし・田植え・稲刈り・脱穀までの一連の作業を実施しました。ご来園いただきましたお客様へ田んぼのある修景・田んぼに集まる様々な生物の観察を楽しんでいただきました。

このほか、観察形式のイベントの代替としてカモウォッチングウィークを開催し、カモ類の観察の楽しみ方や特徴を記載したオリジナルガイドシートを作成して配布しました。また、観察スポットではレンジャーによる解説も実施しました。

・野鳥情報の配信（日本語・英語）

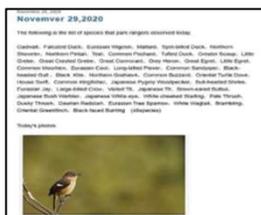
レンジャースタッフが当日確認した野鳥の種類や撮影した写真を、毎日（休園日除く）・臨時休園中は不定期にホームページに掲載し、発信しました。最新の野鳥観察の情報を常に発信することで、野鳥愛好家のお客様のニーズに応え、公園の利用促進につなげました。

・子供向けの自然学習の取り組み

当公園は、野鳥の保護・保全のみならず都民が身近に自然に触れ合えたり、自然を学ぶことができる場として広めることも重要な役割とされており、子供が生物を網で捕えて観察し、その場で逃がしてあげることは自然学習の一環として認めています。昆虫のいる場所・種類等を説明する昆虫観察会の開催、昆虫ガイドシートの配布などを行い、とても好評でした。

・デジタルサイネージ等を活用した利用案内

内容の充実として、野鳥のみならず公園内でみられる昆虫や干潟での生物の写真と動画を提供しました。また、公園内の植物等リアルタイムの画像を提供しました。更に、公園でみられる生きものの紹介を手作りで掲示しました。お客様から、今日見られる情報・昨日観られた野鳥・イベント情報など大変見やすくわかりやすいと好評を得ました。



<野鳥情報の発信（英語）>



<昆虫ガイドシート>



<デジタルサイネージ>

○ 利用の状況

新規来園者や公園の愛好者・支援者の獲得に向けた各種取り組みや、多様な媒体により積極的に情報発信を行った結果、特に小学生以下のお子様を連れられたご家族のご利用が増えました。新型コロナウイルス感染防止による臨時休園期間を除けば、多くの利用者のご来園がありました。

○ 行政目的の達成

・新型コロナウイルス感染症拡大防止のための取り組み

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、お客様・公園スタッフの安全、健康管理を徹底しました。実施した対策は、お客様の体調確認（検温）、飛沫防止パネルシート設置、感染防止徹底宣言ステッカーの掲示、新型コロナ見守りサービスの導入、券売機前待機列場所へのソーシャルディスタンス確認マークの設置、巡回時テーブル・イス等の消毒、双眼鏡貸出し後の消毒などです。

・キャッシュレス決済の導入

キャッシュレス化が急激に加速する状況の中、窓口にキャッシュレス端末を設置し、お客様の利便性向上を図りました。

3 収支状況（単位：千円）		
項目		金額（税込）
収入計		136,367
内訳	指定管理料	136,367
	利用料金	0
支出計		124,180
収支差		12,187

※ 単位未満を四捨五入しているため、合計と一致しない場合があります。